

弔 辞



太田時男先生のご逝去を悼む

岡 崎 健

水素エネルギー協会 会長

本会創立時（昭和 48 年）の幹事長で、昭和 56 年 4 月から昭和 62 年 9 月まで、本会の第五代会長を務められた横浜国立大学名誉教授太田時男先生が、去る平成 21 年 6 月 9 日、ご逝去されました。享年 83 歳。

先生は大正 14 年のお生まれで、昭和 23 年 3 月に京都大学理学部をご卒業されたのち、京都大学理学部副手、石川県立工芸高等学校教諭、金沢高等師範学校講師・教授、金沢大学助手、保安大学校講師、同学の名称変更により防衛大学校講師・助教授・教授を経て横浜国立大学教授・工学部長・横浜国立大学長を歴任されました。また、科学技術会議専門委員、産業技術審議会委員、新エネルギー技術開発部門水素エネルギー分科会委員など、指導的立場で多数の要職を務められました。この間、昭和 48 年の本会創立に幹事長として、昭和 58 年から昭和 62 年までを会長、その後も理事、監事として本会を支えてくださいました。また、国際水素エネルギー協会創設理事ならびに副会長もお務めになっています。

先生のご専門は物理で、高等学校物理学本説、物理学演習 - 大学教材、近代物理学 - 工学基礎などをお書きになる一方で、エネルギー変換、水素エネルギーシステム、及び水素吸蔵合金等をご研究され、多数の論文を發表されています。また、水素エネルギー、水素エネルギー - クリーンエネルギーを求めて、エネルギーの過去・現在・未来 - エネルギー問題を考えるなど、数多くの著書により水素エネルギーの啓蒙に努められました。

これらの長年にわたる功績が認められ、平成 13 年春には勲二等瑞宝章をお受けになっています。また、先生は千崎登季生のお名前でも俳句を詠まれ、句集「草紅葉」を出版されていることは、先生の別の一面でもあります。

私が水素や燃料電池の研究に携わるようになったのは十数年前のことですが、それ以前からエネルギー・環境に関係していたことから、太田時男先生の御高名は若い時から存じ上げており、いくつかの著書も読ませていただきました。常に新しい斬新な考えで未来を見据えておられたことに感

銘を受けたことを覚えています。私が水素の世界に入ってから、国際会議で何度かお目にかかり、懇親会へ一緒に行こう、一緒に帰ろうと優しく人なつっこく声をかけていただくようになりました。その行き帰りには、水素の化学熱力学的な真剣な議論もさせていただきました。その優しさや真剣さ、広いお人柄は、今も心に深く残っています。私にとっては、厳しさよりも優しさだけが印象に残っています。

今でこそ、地球環境問題を背景として水素が世界で脚光を浴びていますが、世界で最初の水素の学術団体の一つである HESS を創設され、長年にわたってこれを指導的立場でずっと支えてこられた先生に深く感謝申し上げます。水素利用はシステム技術が鍵です。水素エネルギー協会の英語名を、Hydrogen Energy Systems Society と名付けられた先見の明にも頭が下がるばかりです。

このような偉大な先生がご逝去されたことは、HESS にとっても誠に残念なことではありますが、先生が種をまき育ててくださった水素エネルギーをさらに発展させ、地球環境保全に真に寄与する水素エネルギー社会の実現につなげていく所存です。太田時男先生に感謝しつつ、心からご冥福をお祈りいたします。

平成 21 年 6 月

写真：第 1 回新エネルギーシステム国際会議（1993 年、横浜。太田時男先生主催）にて。

水素エネルギー協会会長の歴代一覧

氏 名	期 間	所 属 (就任時)
神 田 英 蔵	自 昭和48年7月1日 至 昭和51年3月31日	東北大学名誉教授
赤 松 秀 雄	自 昭和51年4月1日 至 昭和52年3月31日	東京大学
伏 見 康 治	自 昭和52年4月1日 至 昭和53年3月31日	名古屋大学
赤 松 秀 雄	自 昭和53年4月1日 至 昭和56年3月31日	横浜国立大学
太 田 時 男	自 昭和56年4月1日 至 昭和62年9月30日	横浜国立大学
古 浜 庄 一	自 昭和62年10月1日 至 平成10年3月31日	武蔵工業大学 (現東京都市大学)
斎 藤 泰 和	自 平成10年4月1日 至 平成12年3月31日	東京理科大学
太 田 健 一 郎	自 平成12年4月1日 至 平成20年3月31日	横浜国立大学
岡 崎 健	自 平成20年4月1日 ～現在	東京工業大学